

湘南フォレストツアーレポート

2014年5月31日実行

5月31日(土) NPO地球の緑を守る会、湘南支部主催の湘南フォレストツアーが晴れ渡った江の島・鎌倉(長谷)で行われました。湘南支部の奥平里美さんが中心となって、お母様のたみ子さん、弟の一樹君、昌斗君が協力して準備してくれました。植生ガイドは奥平里美さんがメインで、サブが森本さんという宮脇先生の講演で里美さんが出会った方でした。参加者は私たちの他に飯野先生ご夫妻、岩澤さんご夫妻、高橋容子さん、高橋嘉子さん、青木真由美さんそして吉本の13名でした。



午前10時小田急片瀬江ノ島駅を出発して里美さんが用意してくれた「江の島 Forest



Tour Map」に従って、引き潮の海岸を散策しながら断崖に力強く育つタブの木などの土地本来の木の様子を見ました。さわやかな潮風を受けながら爽快な気分になりました。

児玉神社から通じる緑道は断崖の上

にあり、手つかずの木々を見ることができ、里美さん等の名ガイドで楽しく植生を学びました。モッコク、コナラ、ネズミモチなどの葉っぱのにおいを嗅いだり、なめてみたりもしました。昌斗君は「歩く植物図鑑」と里美さんが紹介していましたが、農業高校生の彼は実によく植物や木を知っていました。飯野先生ご夫妻はじめみな木々に癒され石段を上り、緑道を仲良く歩きました。高橋容子さんはみんなが驚くほど元気に歩かれました。昼食は「シラス丼定食」でとてもおいしかったです。

飯野先生ご夫妻が奥平さんたちの求めに応じてレダでの植樹や飲み水のことなど語られました。森本さんも南米パンタナールおよびレダ開拓の様子にとっても関心を持っていました。



昼食の後江ノ電に乗って長谷に行き、御霊神社の巨大なタブの木など見てツアーを終えました。

奥平さんから参加者にポット苗がプレゼントされました。研修会に参加された方や会員の方々が参加できれば一気に親しい関係となり、レダ摂理のため貢献して下さるようになると感じた一日でした。今後継続して進めていければと思います。



報告 吉本邦男

先日はお疲れさまでした。

江ノ島はほんとにいい所ですね、今回皆さんと一緒に廻ってみて江ノ島の良さを改めて知りました。もっと伝えたい事があったのですが、島の中の植物も勉強しないといけないと思いました。

栈橋から観る初夏の江ノ島は緑でモコモコしていましたね、湘南で残される潜在自然植生。江ノ島もレフェージャと言って、氷河期に一時避難して残った照葉樹林帯だと思われます。確実に残して行かないといけない自然で、大切さをもっと伝えて行かなければいけないと思っています。

写真撮影は、当日サブガイド、もしてくださった森本さんです。すてきな写真を撮ってください、ありがとうございました。

奥平里美